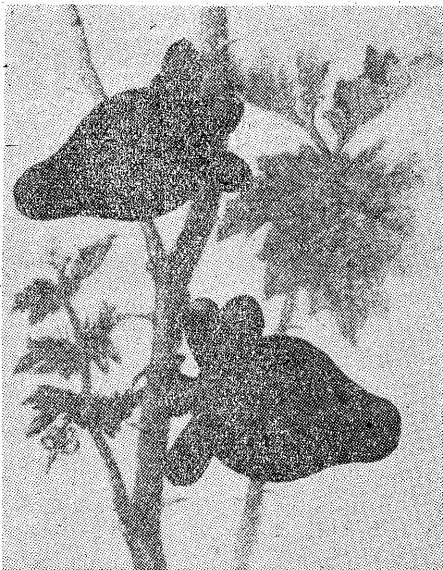


ニナリ、コンナ方言モ現地デハ併用サレテ居タモノト思ハレル。マタ「鳩のなる木」ト云フノハ、毎日特派員ガ、便宜上與ヘタ名ニ過ギマイ。尙B氏ニ依レバ（原文和蘭語）、軟毛ニ被ハレ、餘リ長主キセザル灌木デ、0.5-1.5mmニ達シ、葉ハ長徑13cm、葉幅13cm花ハ2個ヅハ出ル（圖ニヨレバ花色ハ紫）。果實ハ赤黃色、洋梨型、基部ノ周邊リ3個ノ乳頭狀ノ附屬物ヲ備フ。此果實ハ切斷セル枝上デ乾涸スルモ、ヨイ色彩ヲ保テ、海拔800m以下小庭園ニ於テ灌木狀ヲ呈スル。種子ニ依リ繁殖ス。（昭和19年5月記）

○さいはいらんノ菌根莖

（前川文夫）

邦産さいはいらんニハ通常菌根ヲ見ナイガ稀ニアルコトハ木村陽二郎氏ガ東亞植物圖説3:271（昭和15年）ニ述ベテ居ル。近日（註：昭和19年）津村研究所ノ佐々木一郎及中村守一兩氏ガ武州高尾山中デ二月十一日ニ良イ生品ヲ採集サレタノヲ見セテ頂イタガ尾狀ノ菌根ヤ大塊ガ附イテ居ル。ソノ狀ハKing及Pantling兩氏ガ描ケルカッタ植物園報8:182, 246（1898）ノヒマラヤ産さいはいらんノ



第2圖 *Solanum mammosum* LINN.

（Bruggemannノ著色圖版ノ複寫）

圖ニ彷彿タルモノガアル。嚴密ニ云ヘバ根デハナクシテ根莖アルコトきばなのしようきらんと同ジク、從ツテ菌根莖 *mycorrhizoma* ト呼ブベキデ、密ニ直角ニ分枝ヲ繰返シテ錯雜シタ大塊トナリ白色多肉デ脆ク綿毛狀ノ短毛ヲ密布スル、カクノ如ク著シイモノガ何故今迄確實ニ見出サレナカッタノカヲ考ヘルト發主ニ關係ガアルモノノ如クデアル。即チ種子ノ發芽ニハ菌根ノ形成ヲ必要トシ、ソレカラ或ル年數ノ間ハ菌根莖ハ分枝ヲ重ネテ大塊トナルダケデアリ、ヤガテソノ一部ニ假鱗莖ヲ數個附ケルニ到レバ菌根莖ハ假鱗莖ニ吸收サレテ無クナルノデハナガラウカ。前記兩氏ニ依レバ現場デハ可成ノ大塊ヲナシ、シカモ數株ガ簇生スルノ觀ガアツタトイフモコノ間ノ消息ヲ語ルモノト云ヘ様。菌根莖ヲ除イテヒマラヤ産ト邦産トハ區別困難ナルコトハ木村氏ガ上記圖説中ニ説ク處デ、此ノ如キ菌根莖ガ邦産ニモ同ジク存在スルトスレバヒマラヤ以東四川、雲南ヲ經テ臺灣ヨリ遠ク樺太迄分布スルモノハ恐ラク一種ト見テ差支ヘナカルベク、サル場合ハ *Cremastra appendiculata* (D. DON) MAKINO ヲ用フベキデアル。廣大ナル地域ニ分布スルニ拘ラズ形態上ノ差ガ殆ソドナイコトハ種子散布ノ容易性カラ推シテ極メ

テ新シイ時代ニ擴ガツタモノデアラウ。

○いぶきぜりノ所屬ニ就テ (北川政夫)

いぶきぜりハ日本ノ中部以北ノ高山ニ生ズルゼリ科ノ一草デアル。本種ハ Maximowicz 氏ニヨリ *Carum holopetalum* Maximowicz ト命名セラレタガ *Carum* 屬トハ異リ花柱盤ニ瘤狀突起ガ見ラレ、萼片ハ極メテ明瞭デ互ニ接シ合ヒ、葉ハ單羽狀複葉デハナク明ラカニ三出羽狀複葉ヲ呈シ下部羽片ハ明瞭ナ小葉柄ヲ有スル。正ニ *Tilingia* 屬ノ性質ニ吻合スルモノデアルカラ茲ニ新タナ組合セヲ行フ。*Tilingia ajanensis* Regel しらねにんじん等ニ習性ガ相似テキル。

Tilingia holopetala (MAXIMOWICZ) KITAGAWA comb. nov.

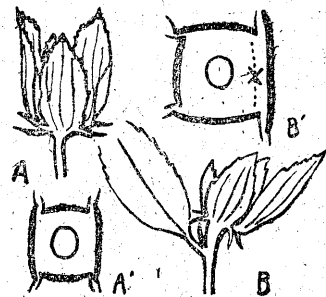
Carum holopetalum MAXIMOWICZ in Bull. Acad. Imp. Sci. St.-Petersb. 31 : p. 48 (1886) : in Mém. Biol. 12 : p. 46 (1886) ; YABE in Journ. Coll. Sci. Imp. Univ. Tokyo 16 Art. 4, p. 42, f. 20 (1902).

Nom. Jap. *Ibuki-zeri* いぶきぜり。

Area Geogr. Japonia bor.

○しろやまぶきノ萼片一葉ガ萼ニ移行スル顯著ナル例 (前川文夫)

しろやまぶき *Rhodotypos scandens* (Thunb.) Makino ノ花部ハばら科トシテハ珍ラシイ4數性デアルカラ萼片モ亦4片ヨリ成リ、綠色葉質デ稍平行セル葉脈ヲ除ケバ、尋常葉ト近イモノヲ感ズル。基脚ノ兩側ニハ針形ニ尖ツタ軟質綠色ノ小片ガ開出シテ居ルガ、通常コレヲ小萼片 Calyculus ト呼ンデ居ル。シカシナガラコレハ萼片トハ別ノ輪上ニ排列スルモノデハナク萼片ニ附隨スルモノデ、尋常葉ノ基脚ニ存スル托葉トソノ形態極メテ類似シ、正ニ托葉ト解スベキモノデアル。Zuccarini ハ既ニコノ事ヲ知ツテ居テ托葉ガ合シテ1個ノ苞ヲナスシテ居ルガ、事實兩者ガ相接シテ突出スル事ハヨクアルガ分レテ居ル方ガ多い。萼片ハ外輪2個ガ大キクテ最終ノ尋常葉ト交互シ内輪2個ハ稍小サイモノハ圖A及A'ニ示スガ如クデアル。然ルニ中ニハB及B'ノ様ニ外觀上3輪ヨリ成リ第1輪ハ最大1個、第2輪ハ中大2個、第3輪ハ小1個ノモノガアツタ。コレハヨク見ルトBノ左側ニ尋常葉的ノ形態ノモノガ1個ダケ孤立シテ居テ、第1輪ノ1個ノ大萼片ハ實ハコレニ對主スルノガズレテ萼片様ヲ呈シタモノデアリ、從ツテ第3輪ハソノ對應スベキ1萼片ヲ第1輪ノ萼片ノ存在ト4個ナル限定數ノ爲ニ消失シテシマツ



しろやまぶきノ

- A 正常ノ萼片 A' 同上ノ排列ヲ示シ各萼片ノ兩縁ノ突出部ハ托葉ヲ意味スル
B 異常ノ萼片ガ尋常葉ト關聯アルヲ示ス
B' 同上ノ萼片ノ排列、×ハ缺如ノ意。